

極早生種・黒斑細菌病耐病性

ライムギ クリーン

キタネグサレセンチュウの

密度抑制効果あり！



ライムギ クリーン

特性・使い方

- 耐寒性、耐雪性に優れた極早生種です。積雪地域での越冬利用が可能です。
- キタネグサレセンチュウの密度抑制効果があり、輪作・休閒緑肥として有効です。
- 春先の出穂が早く、後作の準備・播種を余裕をもって行えます。
- 一部地域において問題となっている黒斑細菌病 (*P.syringae(cannabina)pv.alisalensis*) に罹病せず、アブラナ科野菜の輪作・休閒緑肥として安心して利用できます。
- 草丈30cm前後ですき込むことにより、窒素施用量を3～5kg/10a削減することが可能です。(※1)

播種方法

- 播種量：8～10kg/10a
ブロードキャスター等で播種後、発芽を安定させる為ロータリーなどで覆土し鎮圧します。

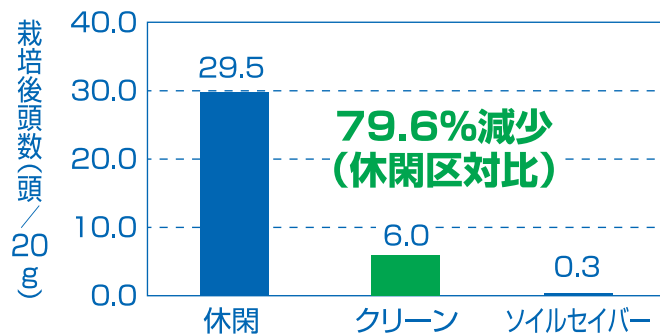
作型表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
暖地 中間地									●		●	
寒地				●			●		●	●		

● --- ● 播種期 ■ すき込み

- すき込み：草丈0.5～1m出穂前を目安に行います。(※1：窒素減肥が目的の場合、30cm前後でも可)
 - 腐熟期間：すき込み後、約1か月の腐熟期間をおき後作物の播種、定植を行う。窒素肥料の施用により、腐熟分解の促進効果が得られます。
- ※寒地の4～7月中旬播種では、越冬の作型に比べ乾物収量は少なくなります。また、すき込みは年内に行います。

試験データ



クリーンのキタネグサレセンチュウ密度抑制効果

試験場所：カネコ種苗(株)くにさだ育種農場
栽培期間：2018年11月5日～2019年2月25日(112日間)
栽培規模：9cmポット 3反復
栽培前線虫頭数：375頭/20g

生育調査データ

	出穂始	草丈	生草収量	乾物収量
クリーン	3月26日	186cm	691kg/a	172kg/a
ハルミドリ	3月29日	181cm	656kg/a	144kg/a
他品種B	4月17日	141cm	782kg/a	118kg/a

播種日：2017年10月18日 場所：カネコ種苗(株)くにさだ育種農場